**追加募集　　３／８更新**

**２０１９年度春～夏学期チューターの募集について**

**業　務　内　容**

① 日本語日本文化教育センター（箕面キャンパス）で学ぶ留学生に対するチュートリアル

（学習補助や生活上の助言等）の実施

② 毎月末、担当教員に対し、実施したチュートリアルの内容や留学生の現況を報告

（箕面キャンパスにある教員の研究室まで赴くことが必要となります）

③毎月末、日本語日本文化教育センターの事務室に実施報告書を提出

**チュートリアル対象留学生**

詳細は３頁目をご覧下さい。なお、採用の際には、対象留学生への割り振りは当方で行いますので、留学生の種別を事前に希望することができません。

1. Uプログラム学生（大学入学前予備教育課程に在籍する学部留学生）
2. Jプログラム学生（日本語・日本文化研修留学生）（国費留学生）
3. Mプログラム学生（メイプル・プログラムで研修を受ける交換留学生）

**実　施　場　所**

原則として箕面キャンパス（但し、担当する留学生との相談により適宜実施場所の変更可）

**雇　用　期　間**

２０１９年５月～２０１９年８月

（但し、Uプログラム学生の担当になった場合は２０１９年９月まで）

※期間内に２０時間実施 （週１回程度　１回１～２時間程度）

※留学生とチューター双方の都合が合えば土・日・祝日においても実施可。

**募　集　人　員**

５０名程度

**応　募　資　格**

大学院生、または、学部２～６年生　（**２０１９年4月時点**）

**給　与**

チューター謝金単価による［９３６円／時間］

**応　募　方　法**

（１）所定の応募用紙を次の方法で入手してください。

ⅰ)日本語日本文化教育センター係において配布

ⅱ) KOAN掲示板又は本センターHPからダウンロード

（２）応募用紙に必要事項を記入の上、次のいずれかの方法で提出してください。

　ⅰ）日本語日本文化教育センター事務室窓口に直接持参。

　（箕面キャンパス日本語日本文化教育センター棟1階

窓口が開いている時間は平日の10：00～11：30　12：30～16：30　です。）

　ⅱ）次のアドレスに応募用紙を添付ファイルで、メール送信

　　　　送付先アドレス： ｃｊｌｃ@office.osaka-u.ac.jp

* メール出願の際の注意事項
1. 応募用紙を添付の際は、必ずパスワードを設定してください。また、パスワードは、添付ファイルと別メールでお知らせください。
2. メール出願の際は、写真データを写真貼付欄に挿入してください。
3. 所定書式（Ｅｘｃｅｌファイル）での送信が困難な場合は、ＰＤＦでの提出も可。

**採　用　方　法**

1. 面接を行い、チューター候補者を選定し、合格者にはその旨、４月１９日（金）までに通知します。ただし、過去に日本語日本文化教育センターでチューターを担当したことのある方につきましては、面接を免除いたします。
2. 選定された候補者の中からチューター配置が必要な留学生の種別・人数に応じて採用者を決定しますが、新規留学生が４月初旬に渡日した後に割り振りを行いますので、本採用の通知は4月下旬になる予定です。
3. 留学生数の変動により、採用されないことがありますので、その点、あらかじめご承知おきください。

**応　募　締　切**

**２０１９年 ４月 ８日(月)**

**面　接　予　定　日**

２０１９年４月９日（火）～４月１２日（金）

* 面接日程については、後日メールで連絡します。

**書類提出先　及び　問い合わせ先**

日本語日本文化教育センター（**箕面キャンパス**：日本語日本文化教育センター棟1階）

窓口が開いている時間　10：00～11：30　12：30～16：30　です。

℡：　072-730-5075, 5076

E-mail：　ｃｊｌｃ@office.osaka-u.ac.jp

日本語日本文化教育センターHP　<http://www.CJLC.osaka-u.ac.jp/japanese/>

****

（Email）

（HP）

**チュートリアル対象留学生について**

1. **Uプログラム学生（大学入学前予備教育課程に在籍する国費学部留学生）**

Uプログラム学生は、日本語日本文化教育センターの大学入学前予備教育課程に在籍する学部留学生で、課程修了後、日本の国立大学の様々な学部（経済学部、文学部、法学部、工学部、理学部など）に１年生として入学することになるため、４月からの１年間で、学部での修学に堪えうる日本語運用能力を身につけることが必要とされます。４月に来日した時点の日本語レベルは、未習から上級まで様々です。

チューターは、留学生が履修する授業科目（主として日本語科目）に関する学習補助を行うことが中心となります。なお、学部留学生の多くは、月曜1,2限、火曜1,2,3,4限、水曜1,2,3,4限、木曜1,2,3,4限、金曜1,2,3,4限に授業があるため、それ以外の時間帯でチュートリアルをしてもらうことになります。また、試験期間前には集中して学習補助を行わなければならないこともあります。

**② Jプログラム学生（日本語・日本文化研修留学生）（国費留学生）**

Jプログラム学生は、母国の大学では日本研究学科に在籍する留学生で、自らの日本語運用能力及び日本文化理解の向上のため本センターで１年間の教育を受けます。入学時期は毎年９月末になります。もともと、日本語や日本文化を主専攻とする学生で、すでに来日して数ヶ月経ちますので、多くの学生は、上級レベルの日本語運用能力があります。

チューターは、留学生が履修する科目（日本語科目や日本文化科目）に関する学習補助の他、図書館などでの文献調査や、資料の読解、論文・レポートの添削、発表会の準備の手伝いなどが期待されます。

**③ Mプログラム学生（メイプル・プログラムで研修を受ける交換留学生）**

Mプログラム学生は、大阪大学交換留学生用教育プログラム（メイプル・プログラム）で学ぶ、本学の学術交流協定校から来た交換留学生で、本センターで１年間の教育を受けます。入学時期は毎年９月末になります。昨年来日した時点での日本語レベルは様々でしたが、すでに来日して数ヶ月経ちますので、皆、日常生活には困らない日本語運用能力を身につけています。

今回の春～夏学期のチューターには、留学生が関心をもったテーマ（例、「日本の食文化」、「国際結婚」、「いじめ問題」等）について、文献を探して一緒に読んだり、話し合ったりする異文化理解活動に参加してもらうことになります。（詳しくは、チューター採用決定後に説明します。）